



1月30日 「2024年3月ダイヤ改正等について」の申し入れ  
東地申第37号

「上野運輸区」提出!

職場で発生している諸問題を解決するため、以下の項目を申し入れました。

なお、東地申第32号「2024年3月ダイヤ改正等について」の申し入れ「基本」も併せてご覧ください⇒



### (共通)

1. 乗務員による籠原駅、高崎駅の車内貫通作業の取扱い方を具体的に示すと共に、それに伴う作業の適切な付加時間を設定すること。
2. 行路分割機能を適用した行路の運用方を明らかにすること。
3. 乗務員基地再編成に伴い、行先地でしっかりと休憩出来る詰所・環境を確保すること。

### (車掌)

1. 昨今の旅客流動の増加及び防犯・防災上の観点から、柔軟にお客さまに対応できるよう常磐線特急は車掌二人乗務にすること。
2. 平日 202 行路、平日 205 行路は拘束時間が長く、乗務距離も多いことから身体的負担を考慮した行路設定をすること。
3. 以下の行路の食事を目的とした乗務の中断を1時間以上確保すること。
  - ① 平日 201 行路 1569E から 1594E
  - ② 休日 203 行路 2530Y から 1575E
  - ③ 平日 204 行路 1638E から 548M
  - ④ 休日 251 行路 1640E から 2561Y
4. 以下の行路の睡眠を目的とした乗務の中断を6時間以上確保すること。
  - ① 全日 1003 行路改札 85M を乗務した場合
  - ② 全日 1004 行路
  - ③ 全日 205 行路
  - ④ 平平 208 行路、休平 208 行路

### (運転士)

1. 平日・休日3行路、平日4行路、平日・休日5行路、平日・休日 52 行路、平日 81 行路の日勤行路の拘束時間を見直すこと。
2. 平日 82 行路の回 1687E は田町運転区との調整は取れているのか明らかにすること。また尾久駅での入出区作業は田町運転区との調整を図り、拘束時間の短縮を図ること。

3. 平平 84 行路の 1888E は北部電留から駅留入区にして構内作業の負担を減らすこと。並びに睡眠を目的とした乗務の中断時間も拡大すること。
4. 平日 13 行路の東京駅での回 1658E から 1658E、休日2行路の上野駅での回 533M から 533M の余裕を持たせたドア扱いと案内設定が出来る折り返し時間にすること。
5. 明け場面での田端統括センターの出場点呼から尾久駅の回 525M と回 527M の発車時刻までの折り返し時間を見直すこと。
6. 全日 53 行路の拘束時間を見直すこと。

### 【設備】

1. 以下の駅について、お客さまの乗降が増えていることから駅員・テンポラリースタッフなどの係員を配置し安全を確保すること。
  - ① 常磐線快速線、夕夜間帯の松戸駅下りホーム
  - ② 高崎線、夕夜間帯の桶川駅下りホーム
  - ③ 宇都宮線、全日の赤羽駅下りホーム
2. 担当線区のホームの一部に屋根が無い駅が有り、夜間帯は暗く視認性が悪いいためホームの照明を増設すること。
3. 以下の駅の ITV の視認性が悪いいため改善すること。
  - ① 北上尾駅上り 15 両用
  - ② 古河駅上本線 15 両用、上1番線 15 両用
  - ③ 野木駅下り 15 両用
4. 以下の駅において、レピーターと列車接近表示灯が誤認しやすいため、設備の移設等を検討すること。
  - ① 水戸駅下本線、上1番線
  - ② 我孫子駅 5 番線
  - ③ 蓮田駅中線

**安全と働きがい向上するダイヤ改正とすべく、  
団体交渉に精力的に臨みます!**